



発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市粕壁東
6丁目7-12
電話 748-5159
FAX 748-5179

6月定例市議会開会

新型コロナ4回目ワクチン接種

5月26日(木) 6月定例市議会が開会しました。

市長提出議案は、条例の制定・一部改正や補正予算など9件。市民からの請願はありませんでした。

会期は5月26日から6月22日までの22日間です。

学校給食費の徴収・管理が市の責任に

「学校給食費の管理に関する条例」が新たに制定されます。現在、学校給食費は、学

校ごとに徴収し、食材を購入しています。教職員の長時間労働の改善が課題となる中、

教職員の負担軽減を図るため、市が学校給食費の徴収・管理をおこなうもので、可決されれば来年(23年)4月から実施されます。

今年度は上沖小、藤塚小、小渕小のトイレ改修が予定されています。そのうち上沖小学校の改修工事が2億6千8百万円で、正和工業(豊野町)が落札しました。工期は来年2月末までの予定です。

補正予算では、新型コロナの4回目ワクチン接種の費用が約4億3千万円、自宅療養者の増加によりパルスオキシメーター貸与などの予算を約4千万円追加します。

4回目のワクチン接種は、3回目の接種から5ヵ月後を目安として実施する方針で、約10万人分のワクチンなどの費用は全額国の負担です。

感染対策しつつ

議員の発言権保障を

新型コロナ感染防止策として議場の換気、マスクの着用、体温測定と体調に異常がある時は出席の自粛、傍聴自粛の呼びかけがおこなわれます。こうした対策を取りつつ、出席議員の調整はおこなわず、全議員が議場に入り、一般質問は1人あたり50分以内を持

ち時間とするなど、通常通りに戻ります。一方で議案質疑だけは本来1人60分以内ですが、「密接を避ける」という理由で30分に制限することになりました。

日本共産党は「議案の質疑だけを制限することに感染防止の根拠がない」と反対し本来の60分にすべきと主張。

6月議会の日程

- 5月26日 議案の上程、説明
5月31日 本会議での質疑
6月2日 常任委員会
6月6、7、9、13、14日 一般質問

6月16日 討論、採決、閉会

\*開会は10時

感染防止のため傍聴の自粛をお願いしています。傍聴を希望する際はマスク着用の上問隔をあげて着席してください。定員は半数の28人



# コロナ禍から暮らしと営業を守る

## 臨時交付金に対する要望書を提出

16日、市議団は、市執行部に対して、国から交付される「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」に対する要望書を提出しました。岩谷市長、白子統括部長、日向総合政策部長が対応しました。

### 出来るだけ早く 取組みたい

岩谷市長は、「要望書の提出ありがとうございます。出来るだけ早く市民の手元に支援が届くように、できれば6月定例会中の上程をめざして進めています。いただいた要望を精査して取組みたい」と述べました。

統括部長は「庁内ラインアップを集めている状況」と報告がありました。総合政策部長は「市民・議

会・担当部局からの要望に出来るだけ応えられるようにしていきたい」と述べました。

### 4人の議員が それぞれ補足説明

懇談の中で、並木市議団長

は、「国の施策が限定的な中で、生活保護世帯の方も夏のエアコン代や購入費などにも困っている。電気代の夏季加算など、生活と健康を守る会などが要望してきたものについても検討していただきたい」と述べました。

大野議員は、「今行なっている住宅リフォーム助成制度は大きな反響で、待たれていた施策。この交付金でもしっかりと補充をして、制

### 新型コロナウイルス感染症対応 地方創生交付金についての要望書

1. 国の生活困窮者支援はあまりにも限定的です。課税世帯ボーダーラインの所得の方がもっとも厳しい状況になっていますので、市独自の困窮者支援をおこなってください。
2. 小中学校給食費を無償にしてください。「義務教育無償」は憲法が定める原則です。本来、保護者に負担を求めるべきではないと考えます。交付金を活用して無償化に踏み出すことを求めます。
3. 住宅リフォーム助成制度を継続・制度化してください。先の臨時交付金で導入した住宅リフォーム助成制度が早くも予算枠を超える状況となっています。市民に待たれていた制度であり、地域の仕事を生み出し事業者を支援しています。経済効果は抜群です。今回の助成金で引き続き助成を継続しつつ、制度化することを求めます。
4. 交通弱者へのタクシー代補助を実施してください。通院・買い物の足の確保は市民の切実な要求で、事業者支援につながります。地域や用途を限定せず、必要な方が利用できるようにしてください。

度化に向けて取組んでほしい」と要望しました。

今尾議員は、「食料品や燃料費の高騰などに困っている人が多い。これまでも市としていい交付金の活用をしてきたと思うので多くの人を救う制度設計を」と述べました。

木下議員は、「年金生活者の方も苦しい暮らしを余儀なくされており、公民館などにしかけるにもバスが使えない、タクシー代が高く参加できない

いとの方も多い。この交付金をぜひそういった方たちにも活かしてほしい」と要望しました。



市長に要望書を手渡す市議団

市立医療センター 735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談#7119

5月29日(日) 松浦婦人科専門クリニック(外科系)一ノ割1-5-1 735-7851 ほそや内科医院(内科系)

下大増新田261-5 733-5200 豊春内科小児科クリニック(小児科系)上蛭田681 760-2300

6月 5日(日) 有賀内科クリニック(内科系)中央1-4-6 760-2703

神田医院(小児科系)上蛭田127-1 754-0854 桜井整形外科(外科系)増富96-3 761-6629

休日当番医